

菅首相退陣！でも自公政権の継続では命・暮らしは守れない！

これが自公政権のコロナ対策

- 批判され、とん挫したお肉券・お魚券など
- 誰も使わないアベノマスク2枚配布
- たった1度の一律10万円給付
- 人流を煽ったGoTo キャンペーン
オリンピック・パラリンピック開催
- そのうえ
国公立病院独法化、病床削減
高齢者医療費窓口負担2倍化
軍事費増大



科学性なし 専門家の提言に耳を貸さず楽観論を振りまいてきた

「いまの状況で普通は(開催し)ない」との専門家の警告も無視してオリ・パラ開催。楽観論をふりまき、感染爆発を招いた責任は重大。

説明なし オリンピック・パラリンピック開催理由を説明できず

感染爆発の要因になると言われながら、「なぜ開会か」と問われても「安心・安全な大会を実現していく」と述べるだけで、説明せず。

補償なし 4度も緊急事態宣言しながらガマンを押しつけるだけ

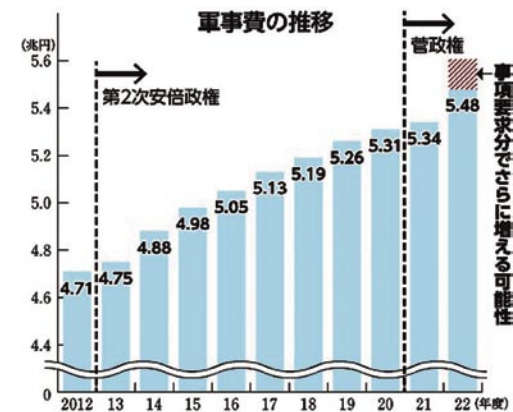
昨年4月に初めての緊急事態宣言が発せられてから1年半。ガマンを押しつけるだけで、十分な補償なし。いまやガマンも限界です。

自民党の政権たらい回しでなく
今度こそ政権交代を実現しよう

すでに医療は崩壊状態



一方、軍事費は大增額



「しんぶん赤旗」(9月1日)

そのうえ野党が国会の召集を求めきたのに拒否。これは憲法違反です。

国会召集拒否は憲法違反
野党国対厳しく抗議

「しんぶん赤旗」(9月2日)

選挙に行こう！投票しよう！

コロナ禍から命・暮らしを守る緊急アクション@埼玉
電話 048-825-7535 FAX 048-825-7536



命・暮らしを守る一点で力あわせれば 日本の政治は変わる、変えられる!



(左から)社民・福島、共産・志位、立民・枝野、れいわ・山本の各氏



「命・暮らしを守ろう」と
金曜駅前宣伝



「政治を変えよう」と訴える
埼玉・女性の市民連合



地域から候補者の一本化
めざす地域連絡会

9月8日、市民連合と野党4党（立憲民主党、日本共産党、社民党、れいわ新選組）は、以下の共通政策に合意しました。

衆議院総選挙における 野党共通政策の提言

—命を守るために政治の転換を—

- 憲法に基づく政治の回復
- 科学的知見に基づく新型コロナウイルス対策の強化
- 格差と貧困を是正する
- 地球環境を守るエネルギー転換と地域分散型経済システムへの移行
- ジェンダー視点に基づいた自由で公平な社会の実現
- 権力の私物化を許さず、公平で透明な行政を実現する

2019年の参議院選挙では投票率が高かったところほど野党統一候補が勝利。横浜市長選でも投票率が高ければ変わるのです。今度の選挙、あなたの一票で日本の政治を変えましょう。

あなたの一票が
日本を変えます

定数1の小選挙区制のもとでは候補者を1人に絞らなければ勝てません。そんななか、埼玉では15ある小選挙区のすべてで、地域連絡会がつくられ、共通政策づくりや候補者の一本化に向けた努力がねばり強くすすめられています。

15選挙区で
地域連絡会が…

4月25日投票でたたかわれた3つの国政選挙（補選、再選挙）で野党統一候補が勝利し、7月4日投票の東京都議選でも立憲野党が前進。8月22日、菅首相のお膝元でたたかわれた横浜市長選挙でも野党候補が圧勝しています。

「共闘は力」は
実証済みです



コロナ禍から命・暮らしを守る政治実現へ
選挙に行こう！投票しよう！

●ぜひ、ご覧ください。 <https://www.facebook.com/groups/206558658155176>